

産地パワーアップ事業の取組事例

(静岡県)

取組の概要

取組の概要 : 次代を担う産地強化への体制整備
計画作成主体 : 東伊豆町農業再生協議会
対象品目 : イチゴ
(産地面積 : 1.22ha)
主な取組主体 : 生産者6名
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 生産支援事業(イチゴ高設栽培施設、
状況 パイプハウス資材 他)

ポイント

中山間地域(半島振興地域)のため、生産支援事業のみに取組み、パイプハウス資材やイチゴ高設栽培システムを導入した。
取組目標は、栽培面積の拡大、秀品向上による販売額10%以上の増加。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状〉

【27年度】作付面積 102 a
生産額 68,000千円

〈目標〉

【30年度】作付面積 122 a
生産額 88,000千円



土耕栽培



高設栽培



推進体制

地域の関係者(東伊豆町、伊豆太陽農業協同組合、県農林事務所等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- イチゴ新品種の導入に向けた試作。

〈県・町単独事業〉

- 新品種「きらび香」を軸とした「静岡いちご」のブランド戦略、販売流通戦略、生産技術戦略を検討。
- 立毛品評会を実施し、相互の技術研鑽による産地のレベル向上を図る

事業効果

- イチゴ高設栽培システムの導入により、単位面積あたりの販売額が特に高いイチゴ(主要19品目中4位)の生産規模が拡大し、品質が向上。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、イチゴの産地強化を実現。

～イチゴの販売額～

